

はじめに

この関西大学高槻キャンパスが
設立された7年間、
ここで彼らは
様々な生態系を形成してきた

共に登り
共に夢見る
キャンパスに共存する生き物たち

総情生き物図鑑

-Organisms coexist Paradise-

地球に残された最後の秘境、総情。

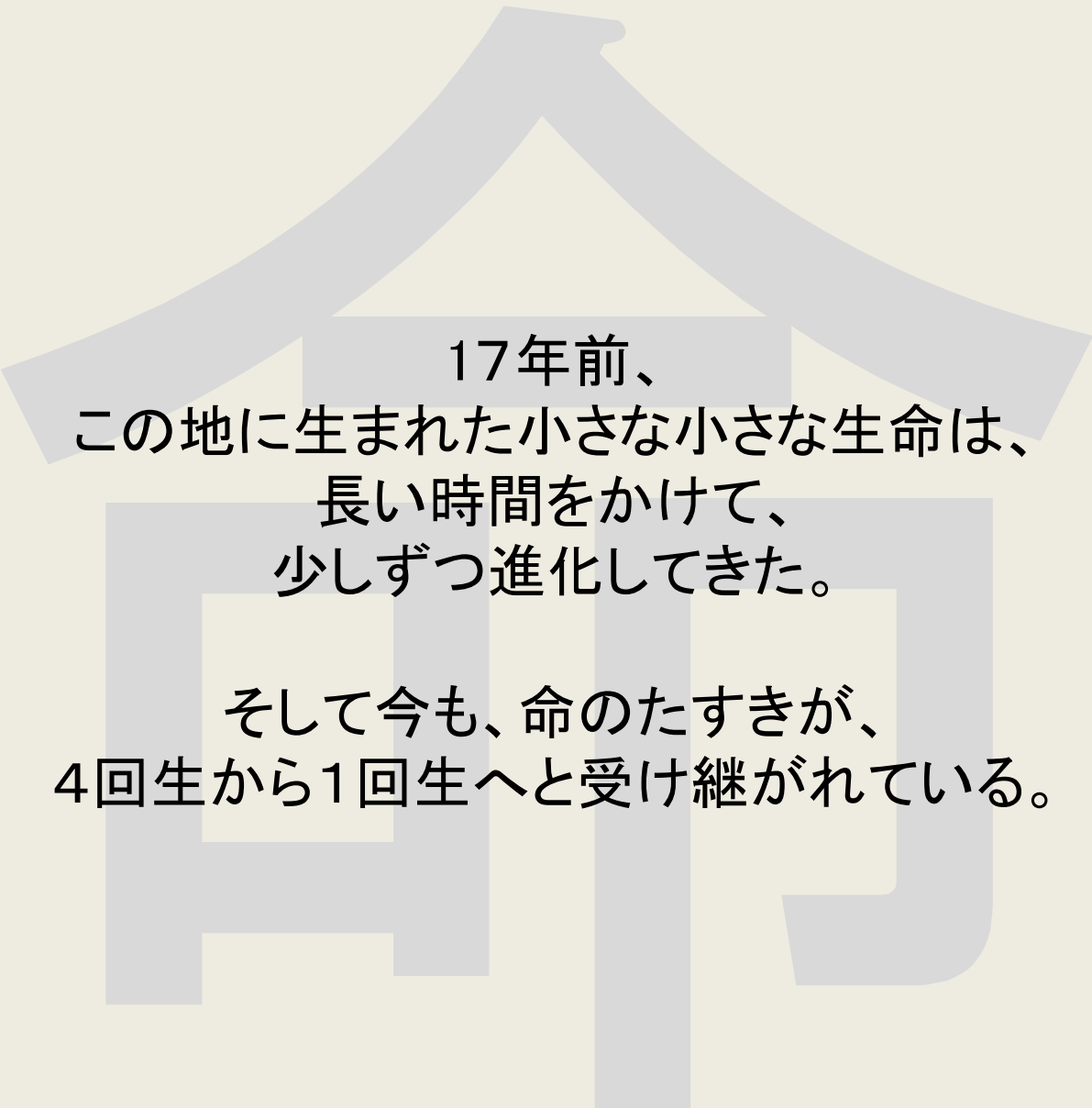
そこは、まだ見ぬ生物の宝庫。
毎年、たくさんの新種が発見され、
新しい事実が次々明らかにされている。

新新

奇

見たこともない奇抜な姿。
想像を絶する生態。

総情生物たちは、
これまでの常識を次々とくつがえして、
私たちの知識のその先へと導いてくれる。



17年前、
この地に生まれた小さな小さな生命は、
長い時間をかけて、
少しずつ進化してきた。

そして今も、命のたすきが、
4回生から1回生へと受け継がれている。

虫・動物

ナナフシ^{ななふし}

生息地：高槻の自然



- ・節足動物門昆虫綱ナナフシ目に属する昆虫の総称。
- ・「七節」の「七」は単に「たくさん」という程度の意味。
- ・木の枝に擬態した姿が特徴的。
- ・世界には約2,500種のナナフシの仲間があるとされている。

希少度：★★★★★

擬態度：★★★★★

実は：動き回るので見つけやすい

うま
馬

[ウマ科]

生息地：馬場



- ・総情に住んでいるウマ目（奇蹄目）ウマ科に属する動物。
- ・馬術部のお世話をするために住んでいる。
- ・基本的に馬場に行けばお日にかかれるであろう。

脚力：★★★★★

食用度：食用ではありません

興味度：馬術部で無い限りあまり見に行く機会が無い

とらわれの・きょだいきんぎょ
囚われの巨大金魚
[コイ科] 生息地: 食堂前噴水



- ・キャンパス内の噴水に囚われた巨大金魚。
- ・手を叩くと寄ってくる愛嬌で、皆に癒しを提供しているが、彼らの扱いは意外と酷く水は常に汚れて富栄養化しアオコがいつも浮いている。
- ・おまけにランダムで噴水が吹き出すもので、おちおち昼寝もしてられない。
- ・近くの草むらになぜかザルと虫取り網が隠されているため、キャンパスにすむ巨人が巨大金魚すくいを嗜んでいると考えられる。

ストレス: ★★★★★
生臭度: ★★★
アイドル性: ★★★

仲良く遊泳



非生物

非生物01

うるるとさららともう一人^{ひとり} [ネジ科] 生存地：厚生棟



- 総務の建物の電力を制御するための装置の中のごく一部の仕事を担っている
- 詳細は明らかになっていない
- この生物の行動姿は、直属の飼い主（電気技師）以外は誰も目にしたことはない
- しかし、おそらくこの生物がいなくなると総合情報学部は今年度起こった停電時のような破滅的事態に陥るだろう
- 地味な存在でありながら、この広大な総合情報学部の支配者的ポジションにある

持久力：★★★★★

存在感：0

責任感：★★★★★



生存地入口

もぐら [コンクリート科] 生息地：建造物ベランダ



- ・建造物のコンクリート部分でよく観測される
- ・他の生物に害を与えない、おとなしい性格である
- ・雨水を主食としており、大雨洪水警報が出されると非常に喜ぶ
- ・晴れの日が続き、絶食状態になっても餓死することは決して無い

希少度：★★
生命力：★★★★★
耐久力：★★★★



総情の建造物に多数生息

非生物03

せいじん
タコ星人 [カベ科]

生息地：D棟



- D棟のカベの横にいつも貼り付いている、地表に現れたタコのような生命体
- 自らの身を隠すため、壁と同じ保護色をしている
- また、敵に襲われそうになったときには地面の中に潜って身を隠すため、足にはよく土がこびり付いている
- タコ星人の詳細についてはまだ明らかになっていない

を

守備力：★★★★★
存在感：★
素早さ：★★★★



敵から身を守るタコ星人

ダブルスパイ [人工物科] 生息地：高岳館付近



- ・草の影に生息している
- ・総合情報学部の創立とともに、人間によって命を吹きこまれた
- ・以降、同一地点に2人一組で、道行くヒト科、動物科、ムシ科、その他の生物を監視し続ける

協力性：★★★★★

存在感：★★

忍耐力：★★★★★

うまる・めきしかん・こびと ききょうへん
埋まるメキシカンこびと ～帰郷編～
[帽子科] 生息地:地面



- ・故郷メヒコの大地を夢見て地中へと猛進するメキシカンこびと。
- ・遙か彼方1万1000キロメートル離れし故郷に帰郷するため地中へと掘り進むが、そのほとんどが鋸を埋めてしまったところで息絶えてしまい、地上に残されたメキシカンハットだけが土から出ている。
- ・仮に裏側にあるとして、地球の直径が約 12000km、大阪とメキシコシティの通常の掘らない方の直線距離が約11500kmと、掘るか掘らないかは結構微妙なところ。
- ・穴が空くほど使い古したメキシカン・”レプレゼンティブ”・ハットからはラテン系の血煮えたぎる熱い情熱と哀愁を感じられずにはいられない。
- ・果たして彼らがメヒコでテキーラを祝杯できる日は来るのだろうか。
- ・合言葉は「メキシコだいたい日本の裏側」

情熱度：★★★★★

切なさ：★★★

メキシコだいたい日本の裏側度：★★

人間

人間01

しょくどう ぞく
食堂シェフ族 [ヒト科]

生息地：食堂



- ・判断力、素早さともに長けている
- ・食券販売という技術に頼らず、学生との意思疎通で注文を判断し、動いている
- ・1つのメニューを仕上げるのに約3人の力が加わっており、食堂シェフ間での驚異的な連携プレーを醸し出している
- ・主な観測時間は11時～15時であり、それ以外で見られることはまれである

判断力：★★★★
 素早さ：★★★★★
 希少度：★★★
 協調性：★★★★★

観測日	曜日	観測時間
8月14日	水	11:00-11:30
8月15日	木	11:00-11:30
8月16日	金	11:00-11:30
8月17日	土	11:00-11:30
8月18日	日	11:00-11:30
8月19日	月	11:00-11:30
8月20日	火	11:00-11:30
8月21日	水	11:00-11:30

都合により変更する場合があります。ご容赦ください
関大生協高槻本部

食堂シェフ観測日一覧@厚生棟2F

ハイヒール^{ぞく}族 [ヒト科] 生息地：高槻キャンパス内



- ・自らの安全性と他人の安全性を犠牲にし、自らの身なりに気を遣う
- ・ハイヒール族の群れに遭遇したときは、そこがたとえ総合情報学部内であっても、まるで梅田に移動したような感覚に陥る
- ・ヒールによる攻撃力は非常に高い
- ・最悪の場合、病院送りになることもあるため、C棟のエレベーターや満員バスの中などでヒール族の近くにいるときは細心の注意が必要
- ・ヒールにも種類があり、形が細長い程高い攻撃力を持ち合わせている
- ・ヒールの靴には夏仕様と冬仕様があり、TPO を心がけていることがわかる

平衡感覚：★★★★★

希少度：★★★

攻撃力：★★★★★



夏仕様と冬仕様

きつえんぞく
喫煙族 [ヒト科] **生息地：喫煙所**



- ・ 総情に住み着く少数生物。
- ・ かといって希少価値があるわけでもなく、さらに最近の禁煙ブームにより肩身の狭い思いをしている。
- ・ 定期的に肺にニコチンを送り込むことで、自らを活動的にしている。
- ・ 休憩時間になると灰皿に群がってくる。
- ・ 共存場所（喫煙所）が減られ逆にマナーの悪さが増加している。

希少度：★★
マナー：★★★★
マナー：★
(減少後)



領地を奪われた喫煙族

チャライ族^{ぞく} [ヒト科] 生息地：高槻キャンパス内



- ・単独よりも群れで行動していることが多い
- ・教室の中、く棟、食堂、バスの中などで見かけるときはたいてい2人以上でたわいのない会話をしているところがよく目撃される
- ・どんな状況でも彼らなりの楽しさを追求している
- ・テスト前の期間では、族間でのノートの貸し出し、コピーをする姿が観測される

協調性：★★★★
※ただし、族間に限る
わんぱくさ：★★★★★
行動力：★★★★★



チャライ族御用達のコピー機

人間05

おたく
オタク [ヒト科]

生息地: C棟



- ・総情の大部分を占める生物。
- ・石を投げれば高確率でこれに当たる。
- ・パッと見、一般人に擬態している種類もいるため注意が必要。

希少度: ☆
知識量: ★★★★★
頒布度: キャンパスほぼ全体



様々な嗜好を持つ

人間06

びくしい
ピクシー [ヒト科]

生息地：不明



- ・別名、総情のブラウニー。
- ・伝承とは違い、人目があっても掃除もすれば挨拶もしてくれる。
- ・よくR棟の入り口に集まっているのでそこに住処があるのではないかと
言われている。

希少度：★
得意技：掃除
仕事量：いっぱい



R棟前に集まる姿

とらっくやろう
トラック野郎
[ヒト科]

生息地: R棟前



- ・高槻キャンパスに原生するトラック野郎。
- ・70年代に社会現象化したあの東映映画ブームの名残である。
- ・彼らが乗っているのは特に普段はゴミ箱として扱われているR棟横の箱。
- ・実は本来こういったエキサイティングなアトラクションである。
- ・最近ではほとんど観られなくなったが無邪気な原住民がごくまれに超エキサイティングしに来る。
- ・彼らはだいたい普原文太ファンでスピード狂である。
- ・しかし実際は速度など全く出しておらず、スリルも何もないが別の意味で勇気が要る。
- ・楽しむコツは、すごい乗ってる感を顔で演技することだそう。

稀少度: ★★★★★

乗ってる感: ★★★★★

恐怖感: ★★★★★

もりしゅん
森駿

[ヒト科]

生息地：高槻キャンパス内



- ・地面にある無数のコンクリートブロックに紛れて民家の表札があらわになっている
- ・おそらくこの下には森駿というヒト科の生き物が暮らしているのだろう
- ・しかし、ここから森駿が出入りしている様子は未だ観測されていない
- ・極度に高い希少度、家の立地条件から、総情の原住民の一人ではないかと考えられる
- ・全てが謎につつまれている

存在感：★
耐久力：★★★★★
希少度：★★★★★★★★★



森駿宅の住所

^{むかでにんげん}
ムカデ人間 [ヒト科] 生息地:バス停



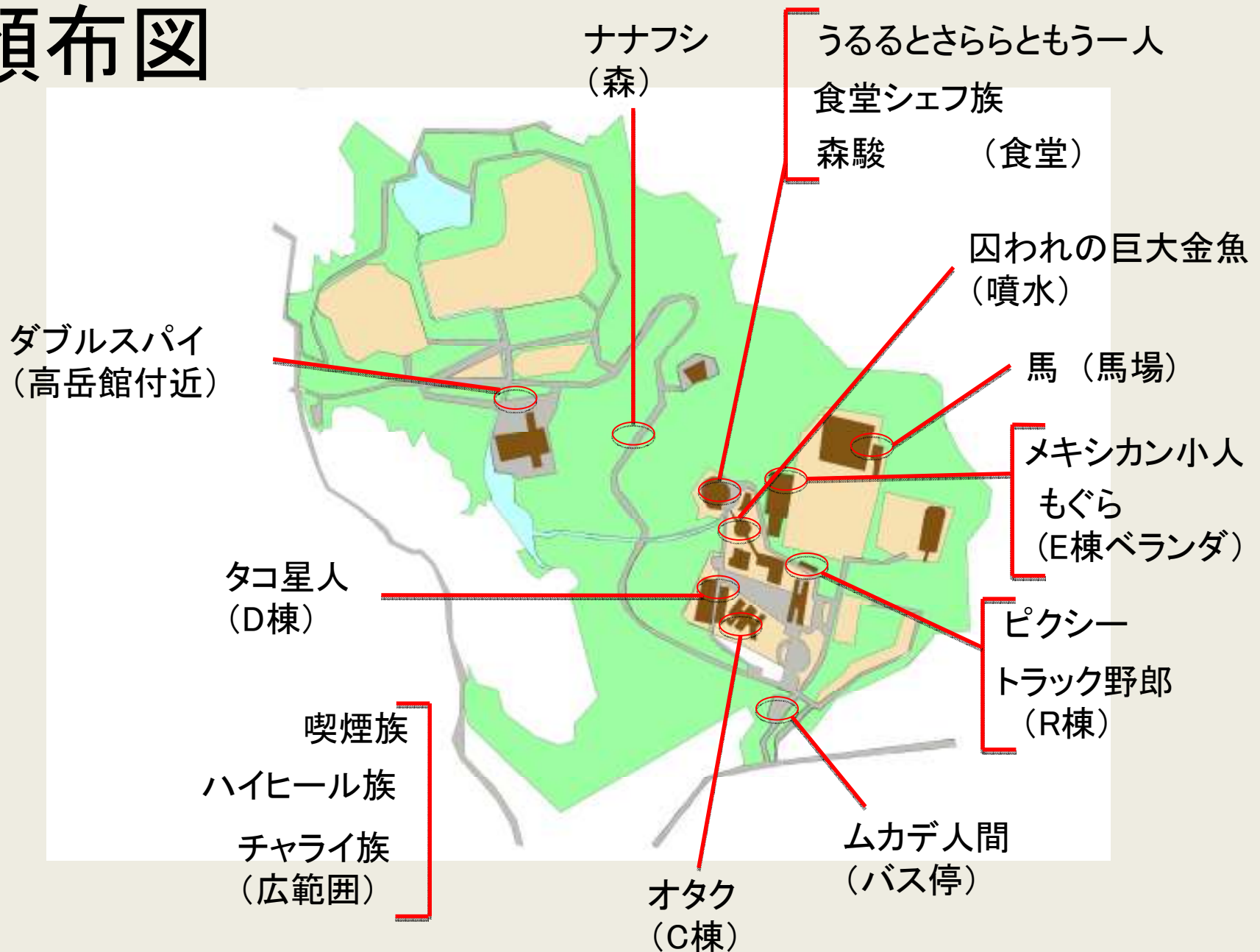
- ・講義終了のチャイムと共にバス停付近に現れる群生生物。
- ・長さは10m~50mに達するものまで観測され、その長さは随時可変する。
- ・特に5時限目が終了する頃に長いものがよく観られ、高槻市営バスにより帰宅するために出現する。
- ・およそヒト3個体で1.5mを成し、50mのムカデ人間になると、構成するヒトの個体は100体以上にのぼる。
- ・特に賑やかで騒がしいという特徴があり、同じバスに乗り合わせてしまうと大変厄介である。
- ・騒音や態度の問題で、社会倫理的に問題があるとされているが、管理している関西大学は特に目立った対策を講じておらず、共存する上でこれからの課題を多く残す難しい生き物である。
- ・2010年には同じくヒトの群生生物をテーマに扱った映画『The Human Centipede (邦題;ムカデ人間)』が、オランダの鬼才トム・シックス監督により制作され、問題作として話題となった。

最長度: ★★★★★

猥雑度: ★★★★★

稀少度: ★

頒布図



データスケープ

-いきもの編-

高槻キャンパスの面積は

データ01



世界最大面積の動物園



旭山動物園 15ha

旭山動物園が3つ分
サンディエゴ動物園とほぼ同じ

とっても長い。長いよ、総情！

データ02



アフリカゾウ 7m



シロナガスクジラ 30m



ムカデ人間 50m



正門（西の口）から主要学舎まで 1500m

アジアゾウの1食分の値段は
学食メニュー 11 食分相当

データ03



アジアゾウ：1食 3300円
食堂メニュー：平均 300円

総合情報学部 4年間の学費で
キリンが買える。

データ04



学費ー 537万8000円
キリンー 300万~1000万

今回の調査により、
総情の生態系の一部が明らかになった。
しかし、このキャンパスには
未だ多数の未確認生命体が存在する。
今後も総情の生態系は進化を続けるであろう。

次はあなたの目で確認してほしい。